

ガザ攻撃の即時中止を！

ガザに人道危機が迫っています。イスラエルは、ガザ周辺の軍部隊にガザ侵攻の準備命令を出したと報じられています。すでにガザの死者は6500人以上にもなり(子供の死者は2300人以上)、イスラエルによるガザへの地上戦が始まればその犠牲はさらに広がることになります。何としても、ガザ侵攻を止めるよう声をあげましょう！

2007年のイスラエルによる封鎖依頼、困難な状況を強いられているガザでは、さらに電気や食料、水や衣料品などインフラを断たれ、国境も封鎖されている中で、空爆も繰り返されており、まさに地獄の様相にあります。国連UNRWAは燃料不足が深刻で25日夜には活動停止に追い込まれる怖れを指摘しています。

民間人を犠牲にするイスラエルの空爆や地上戦の開始は、国際人道法違反の「集団懲罰」であり、戦争犯罪そのものです。国連のグテレス事務総長もイスラエルのガザ攻撃を「明確な国際人道法違反」と非難しています。

アメリカは国連安保理での停戦決議案を拒否権で否決しました。24日の安保理閣僚会議では「一時的な戦闘中断」を要請しましたが、依然イスラエルの「自衛権行使」を支持しています。ハマスの攻撃の根底には、ガザが封鎖状態におかれ、「自治区」ヨルダン川西岸でも大半がすでにイスラエルに実効支配され、ユダヤ人入植者によって日常的にパレスチナ住民の生命や財産が脅かされている現実があることにあります。イスラエルが、75年間行ってきた国際法違反の戦争犯罪について、日本を含む欧米の政府は放置したことに原因があります。

この問題の解決は、イスラエルによる占領と封鎖をやめさせることにしかありません。日本政府には、あらゆる手段を用いて、各国が調停に乗り出すよう最大限の外交努力をするよう声を届けましょう！

イスラエルによる無差別空爆と地上戦を断念させ、交渉による解決の道を選ぶよう声をあげましょう。

抗議の声を届けてください

◆<イスラエル大使館>

メール information@tokyo.mfa.gov.il

TEL 03-3264-0911 (代表)

FAX 03-3264-0791

◆<外務省>

メール mail-han@mofa.go.jp

フォーム

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/comment/index.html>

◆<国会事務所>

岸田文雄首相 FAX 03-3591-3118

上川陽子外相 FAX 03-3508-3290



◆ガザへの無差別爆撃と侵攻やめろ！デモ

10月28日(土) 集合：午後1時 デモ出発：1時20分

集合場所：栄 ヒロバス北側の歩道(噴水の広小路通りを挟んだ南側・三越の東側)

地下鉄14・15番出口

*バナーやプラカードなど持ち寄り歓迎

◆アメリカ領事館抗議行動

10月30日(月) 1時

国際センタービル・国際センター駅2出口すぐ

**STOP
GENOCIDE
IN GAZA**

呼びかけ: 不戦へのネットワーク ・ BDS名古屋

連絡先: 名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

電話: 050-3593-5130 Eメール: husen@jca.apc.org